

米沢藩

武士のお仕事

戦士・役人・芸達者

▲火事兜(栗林家伝来)



「なせばなる...」が記された国宝「上杉家文書」上杉鷹山書状(部分)※
 成るはなる成るはなる
 何事をも成ると思ふ人の
 成るはなるなり



▲紫 茶糸 威 二枚胴具足(長尾家伝来)※

▲陣羽織



▲道中風俗図屏風(部分)※



▲若井牛山筆 小嶋熊蔵像(部分)

■会 期/2020年1月11日(土) ▶ 3月22日(日)

※2/18(火)以降、一部資料を展示替(※印のついた資料は2月16日(日)まで展示)

■休 館 日/毎週月曜日(祝日の場合はその翌日) 図版掲載資料はすべて米沢市上杉博物館所蔵

■開館時間/9時~17時(入館は16時30分まで) 2月8日(土)・9日(日)は雪灯籠まつりに合わせ19時まで開館(入館は18時30分まで)

●●● 伝国の杜

●●● 米沢市上杉博物館 〒992-0052 山形県米沢市丸の内1-2-1
 TEL 0238-26-8001 FAX 0238-26-2666

<https://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp>

てつさくいろこしんとおとしに まいどうぐくそく 鉄錆色紺糸 威 二枚胴具足(芋川家伝来)▶



コレクション展

米沢藩

武士のお仕事

～戦士・役人・芸達者～

上杉家家臣団5000名の

働きぶりにご注目!!



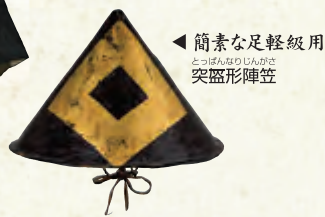
▲ 荒砥の支城と船着場
あらとより 山と 和お せ さいかいめまで え ず
自荒砥舟渡大瀬御境目迄絵図(部分)



◀ 明治初期の西洋式
夏用軍服上着



▲ 立派な隊長級用
まる は 君もだかもんいりじんがさ
丸に葉沢瀉紋入陣笠



◀ 簡素な足輕級用
とっぱんはのじんがさ
突笠形陣笠

戦いがほとんど無くなり、平和が続いた江戸時代。米沢の武士たちは、どんな仕事をしていたのでしょうか。

一口に米沢藩士といっても、奉行(家老)から足輕以下まで階層があり、身分に応じて役目が決められていました。戦士としての軍事組織(番方)を基本としながらも、領内の統治や主君・上杉家に奉仕するため様々な役職(役方)に就きました。警備や消防、参勤交代の御供も戦に準じた武士の役割でした。また、医師・絵師・諸職人といった技芸を専門とする者も召し抱えられていました。中・下級藩士や陪臣の場合は、乏しい俸給を補うため内職も盛んでした。

本展示では、実に多彩な米沢藩士の仕事を紹介し、時にサラリーマンにもたとえられる、江戸時代の武士の多様な生きざまを探ります。



▲ 直江執政の指示 (元和4年・1618) 閏3月7日
三瀧式部宛直江兼統書状 ※展示は2/16まで



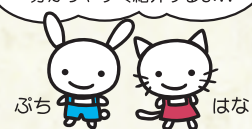
◀ 将棋駒作りの戯画
伝宮島誠一郎筆貧時難行図

入館料

一般 210円 (160円)
高大生 110円 (80円)
小中生 50円 (40円)

※()内は20名以上の団体料金

わたしたちが見どころを選んで、
分かりやすく紹介するよ!!



ぶち はな

ギャラリートーク (担当学芸員による展示解説)

1月11日(土)「展覧会の見どころ」

2月1日(土)「米沢藩士の調べ方」

3月7日(土)「藩士の仕事百景」

※各回14:00～ 企画展示室にて、要コレクション展入館料。



▲ 桑名廻りを進む行列 道中風俗図屏風 ※展示は2/16まで ▲



次回展覧会予告

特別展「関東管領上杉謙信」(仮)

前期/2020年4/18(土)～5/17(日) 後期/2020年5/23(土)～6/21(日)

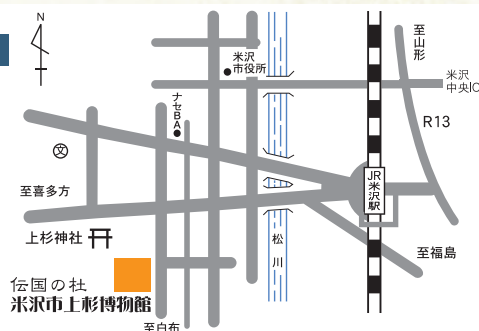
置賜文化ホール事業【TEL:0238-26-2666】

三遊亭好楽・林家たい平 二人会 2020年2/16(日) 14:00～
全席指定 3,800円(当日4,300円)

※二人会チケット半券提示で、「武士のお仕事」展が割引に(2/16終演後～3/22まで)

アクセス

- ◎JR米沢駅から2km
(上杉神社隣接)
- ◎市内循環バス
「上杉神社前」下車
- ◎市内循環バス南回り路線
「九里学園前」下車
- ◎東北中央自動車道
米沢中央ICから約4km



伝国の杜 米沢市上杉博物館

〒992-0052 山形県米沢市丸の内1-2-1
TEL 0238-26-8001 FAX 0238-26-2660
<https://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp>



やってます!

ファンクラブ、サポーターメンバー募集中

ファンクラブ/もっと楽しみたい方に。
特典いろいろ!
サポーター/人とつながる、自分を生かせる
ボランティア。